

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	輝HIKARIみらい2F（放課後等デイサービス）		
○保護者評価実施期間	令和7年2月1日		～ 令和7年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21名	(回答者数) 15名
○従業者評価実施期間	令和7年3月1日		～ 令和7年3月17日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月21日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保育士や理学療法士、社会福祉士など様々な専門知識を持つ人たちが働いており、色々な観点から子ども達に支援を行っています。	子ども達が個別に抱えている課題などを正社員パートなど関係なく意見を出し合っており、その子どもに最適な支援の方針をみんなで考えています。	法人内には言語聴覚士や心理カウンセラーなど様々な業種の人たちも働いているので、その人たちを巻き込んで事例研究などを行っていきたくと考えています。
2	子ども達の主体性を高めていくために、自己選択・意思決定ができるように、子ども達一人ひとりのペースに合わせた支援を行っています。	外出先などを子ども達と話し合ったり、昼食の時間でまだまだ遊び足りない子どもは自分のタイミングで食べることができるように配慮しています。	子ども達が自ら工夫しながら遊べるように支援室の玩具の置き場所や机の位置などを考えていきたいです。
3	子ども達が楽しく放課後等デイサービスを利用できるように、放課後の短い時間でもちょっとした集団遊びや、長期休みや土曜日などにはお出かけをしたり、調理実習などのイベントを開催しています。	月に一回程度はハンバーガーづくりやうどんづくりなど子ども達が好きなものを作る調理実習を開催したり、長期休みであれば博物館や工場などの見学に行ったりしています。	今後は保護者も参加できるようにイベントの計画を作成し、親子参加型のイベントも実施していきたいと考えています。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会は設置されておらず、保護者同士が交流する場がない状況です。	保護者によっては働いている日が違ったり、自力で事業所などの場所に来るのが難しかったりするので開催は難しいと考えておりました。	保護者のニーズを聞き出し、必要があれば交流会などの機会を設けていく必要があると考えています。
2	同法人で地域住民を巻き込んだイベントは開催したことがありますが、等事業所ではそのようなイベントの開催はしたことがなく、交流をしたことがありません。	イベントを開催できる土曜日などに出勤できる職員も数が限られており、子ども達をお預かりしながら、安全に配慮したイベントの開催は難しいと考えておりました。	近くの短大や専門学校と提携しており、実習なども行っているため、ボランティアとして来ていただくことで大人側の目を増やすことはクリアできると思っております。また、学生側にも障害福祉で働く雰囲気や子ども達と関わる機会を提供できたりするので検討の余地はあると考えています。
3	活動プログラムや避難マニュアル、事故防止マニュアルなどの保護者への周知があまりうまくいっていないです。	避難マニュアルや事故防止マニュアルなどは契約時に一度確認するだけなので、印象に残りにくく考えます。また活動プログラムに関してはホームページには毎月掲載していますが、特に通知などはしないため周知されないのだと考えます。	LINEでの発信など保護者が目につきやすい場所に分かりやすく掲載することで周知率を上げていきたいと考えています。